



ゆうこくタイムズ第2号 2025年10月発行（神無月）／編集・発行 ゆうこく連合愛知

市民の目線で、世の中の“なんかおかしい？”を絶賛発信中♪♪



《ゆうこく連合3つのスローガン》

- ① 日本独立（不平等な「日米地位協定」の見直し など）
- ② 日本再興（日本を弱体化する「消費税」の廃止 など）
- ③ 日本救世（薬害を生む「mRNAワクチン」の中止 など）



ゆうこく連合は、3つのスローガンのもと、日々の暮らしを大切にしている人たちが集まって結成した市民団体です。「いまの日本はどこかおかしい！」その思いをそれぞれの一票にのせ、その一票をたくさん集めて一気に『政権交代』することを目指しています。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。⇒ yukokuaichi.mailmagazine@gmail.com

第2号 トピック

1. 日本の移民政策をめぐる5つの「不都合な真実」
2. 名古屋市の藤前干潟知ってる？
3. おすすめ映画情報
4. 編集後記

1. 日本の移民政策をめぐる5つの「不都合な真実」 ～知らなかったでは済まされない～

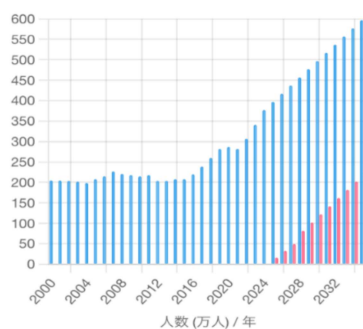


急速に変化する日本の移民政策の背後に隠された、より大きく根深い現実とは何なのか？

① スウェーデンが示す「犯罪爆発」

スウェーデンなど欧州では移民増加に伴い犯罪（特にレイプ）が急増している。「移民増加による犯罪への懸念は根拠のない差別だ」という感情論ではなく、統計に裏付けられた結果だ。今後日本においても起こり得る現実であり、日本が絶対に無視してはならない教訓である。

日本の在留外国人推移と移民受け入れ計画 (2000-2035)



● 在留外国人実績/推計 (青)
● 移民受け入れ計画累積 (赤)
※AIにより作成

② 日本の“常識”が通用しない断絶

移民問題は単なる人数の問題ではない。「異なる文化背景を持つ人々を迎え入れる」という心優しい話ではなく、根本的な価値観や社会規範の衝突である。そして、それは予測不能な犯罪の可能性を高める。

③ JICA の「ホームタウン事業」見せかけの“撤回”

撤回の裏で政府は「技能実習制度」に代わる新制度「育成就労」と「定住プログラム」を開始し、在留期間の上限がなく家族を帯同できる「特定技能2号ビザ」の準備をしている。約82万人の外国人労働者の永住化を図る驚くべき計画だ。国民的な議論や同意を避けながら、大規模な受け入れと永住化への道筋が水面下で着々と進んでいる。

④ 「安価な労働力」という麻薬

少子化・高齢化の社会において、外国人労働者は「経済的必需品」であるという議論が後を絶たない。しかし、この一般的な経済論はより深刻な罠を隠している。安価な労働力はそれらと競争する日本人の賃金を押し下げ、人手不足の解消のために生まれるはずのロボット工学やAIなどの技術革新を阻害しイノベーションの芽を摘む。そこに待つのは賃金の低下と国際競争力の喪失という負のスパイラルだ。

愛知県 外国人住民数多いまち（総人口比順）

- 1 飛島村 11.44%
- 2 高浜市 10.49%
- 3 碧南市 9.57%
- 4 知立市 8.28%
- 5 小牧市 7.94%
- 6 岩倉市 7.60%
- 7 西尾市 7.51%
- 8 弥富市 6.74%
- 9 豊明市 6.60%
- 10 豊橋市 6.18%

※2024年12月現在 愛知県Webサイトより